

科目名：母性臨床看護Ⅱ		必	2 単位 (90 時間)
(Motherly clinical nursing Ⅱ)			
履修年次/時期：2 年次 通年		授業形態： 講義・演習	
主担当教員：村井みどり（看護師・助産師実務経験等 5 年以上：学生が母性看護学概論や母性臨床看護Ⅰで学んだ知識や技術を踏まえて母性看護が実践できるよう演習等を取り入れ教授する）担当教員：久保貴巳子・永谷晃子			
学修目的	1. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の健康状態をアセスメントする力を養い、看護に関連する理論と方法を修得する。 2. 母性看護学実習に活用できるように妊娠・分娩・産褥・新生児期の看護に必要な基本看護技術を修得する。 CP 1, 2, 3, 4, 5, 6に関連する 科目 No.KNz-222		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	①妊娠・分娩・産褥・新生児期の健康診査に必要な情報収集と観察項目がわかる。 ②妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象者の全体像を表現できる。 ③妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象者の看護過程の作成ができる。 ④対象者の退院を見据えた保健指導案の作成を体験し、効果的な指導について理解する。 ⑤カンファレンステーマの決定から実施ができ、効果的なカンファレンスについて理解する。 ⑥母性看護に必要な基礎看護技術を修得できる。 ⑦観察した妊娠・分娩・産褥・新生児期の内容を ISBARC の6要素で報告できる。		
授業概要	妊婦・分娩・産褥・新生児に必要な看護の実践について家族という視点で学習する。妊娠の成立から分娩・産褥・新生児が正常な過程をたどるために必要な看護と異常を伴う看護について看護過程を基に学習する。		
評価方法	課題評価（50％）定期試験（50％）評価に対するフィードバックは掲示で行う		
予習・ 復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間		
教科書	系統看護学講座 母性看護学 2 母性看護学各論 医学書院 太田操著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程、医歯薬出版 平澤美恵子他：写真でわかる母性看護技術アドバンス、インナーメディカ		
参考書	1. 佐世正勝・石村由利子著：ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図、医学書院。 2. 村越毅：帝王切開バイブル、メディカ出版 その他は授業の中で適宜紹介します。		
オフィスアワー	村井みどり 9：00-17：00 3号館3階研究室 m.murai@kdu.ac.jp 不在時はメールしてください		

連絡先	久保貴巳子	9:00-17:00	3号館3階研究室' k.kubo@kdu.ac.jp'	不在時はメールしてください
	永谷晃子	9:00-17:00	3号館3階研究室 a.nagatani@kdu.ac.jp	不在時はメールしてください

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/) 2 (/) 3 (/)	ガイダンス ①科目の目的、目標、学習内容や方法がわかる。 母性看護における看護過程の考え方 ①看護過程の基本的な考え方を想起できる ②ウェルネス看護診断の定義を説明できる ③ウェルネス志向の考え方を説明できる ④ウェルネス看護診断の特徴を説明できる ⑤問題志向型とウェルネス志向型の違いを説明できる ⑥妊娠、分娩、産褥、新生児期におけるアセスメントの視点を説明できる	〔予習〕 シラバスの学修目的、到達目標、授業概要、評価方法の確認 〔復習〕 「看護過程」「母性看護学概論」授業の振り返り [キーワード] セルフケア、ウェルネス看護診断 NANDA 看護診断 アセスメント	講義 ○村井
4 (/) 5 (/) 6 (/)	母性看護におけるケアプランの考え方 ①情報収集方法を説明できる ②ウェルネス看護診断による情報整理の手法を説明できる ③情報をセルフケア能力の視点で分析・解釈する手法を説明できる ④対象が理解しやすい表現で全体像の記載内容を説明できる ⑤根拠を基に優先順位の決定と看護の方向性の明確化を説明できる ⑥看護診断及び看護上のニーズの明確化を説明できる ⑦看護診断及び看護上のニーズから目標設定、看護介入計画、評価の一連のケアプラン作成方法を説明できる	〔予習〕 配布資料 母性看護学概論第4章第5章を読む 〔復習〕 前回授業内容 [キーワード] 情報収集 分析・解釈 強み ニーズ ウェルネス看護診断条件 看護介入	講義 ○村井
7 (/) 8 (/) 9 (/)	事例展開 (1) (2) 正常褥婦および正常新生児の看護 ①ウェルネス看護診断による情報整理ができる ②情報をセルフケア能力の視点で分析・解釈ができる ③対象理解しやすい表現で全体像の記載ができる ④根拠を基に優先順位および看護の方向性を決定できる ⑤看護診断及び看護上のニーズの明確化ができる ⑦看護診断及び看護上のニーズから目標設定、看護介入計画、評価の一連のケアプラン作成ができる ＊課題提出	〔予習〕 正常妊娠・分娩・産褥・新生児期における看護を読む [復習] 第1回～第5回授業の振り返り [キーワード] 正常分娩 子宮復古 母乳育児、育児技術 愛着形成 家族の再調整 早期新生児 感染防止	講義 ○村井

10 (/) 11 (/)	母性看護における看護過程の展開 ～退院に向けての計画～ ①退院を見据えての保健指導案を作成できる ②効果的な指導について考える。	〔予習〕配布資料「保健指導案作成」を読んでおく 退院指導のテーマを考えておく 〔復習〕講義の振り返り [キーワード]退院指導	講義 ○永谷
12 (/)	次回の演習準備 ①基本的看護技術のプレストを完成させ知識の確認ができる ②演習順序をグループ間で決定することができる ③行動計画書作成を行いグループメンバーの演習計画の周知を図ることができる ④演習環境の整備を全員で行うことができる	〔予習〕テキストの技術面を読む 〔復習〕プレストを完成する 〔キーワード〕妊婦の健康診査、レオポルド触診法、産褥進行性・退行性変化、胎児心拍モニタリング装着と判読	講義 ○村井
13 A (/) B (/)	演習 ① 妊産褥婦の健康診査技術を正確に実施できる。 ②演習順序をグループ間で決定することができる ③行動計画書作成を行いグループメンバーの演習計画の周知を図ることができる ④演習環境の整備を全員で行うことができる	〔予習〕テキストの技術面を読む 〔復習〕プレストを完成する 〔キーワード〕妊婦の健康診査、レオポルド触診法、産褥進行性・退行性変化、胎児心拍モニタリング装着と判読、	演習 シミュレーション ○村井 久保 永谷
14 (/) 15 (/)	次回の演習準備 ①基本的看護技術のプレストを完成させ知識の確認ができる ②演習順序をグループ間で決定することができる ③行動計画書作成を行いグループメンバーの演習計画の周知を図ることができる ④演習環境の整備を全員で行うことができる	〔予習〕プレストを完成する 〔復習〕前回の授業内容 テキストの技術面を読む 〔キーワード〕 新生児の健康診査、沐浴、ドライテクニック、抱き方、観察	講義 ○村井
16 A (/) B (/) 17 A (/) B (/) 18 (/)	母性看護に必要な基礎看護技術 ①妊産褥婦、新生児の健康診査技術を正確に実施できる。 ②観察結果から健康状態のアセスメントができる ③アセスメント結果から看護の意味づけができる ④グループメンバーと良好なチームワークを保つことができる。 ⑤ 事例から立案した援助計画を安全に安楽に実施できる	〔予習〕配布資料を読んでおく 〔復習〕母性看護学概論・母性生理的変化を見直す。 [キーワード] 新生児の健康診査、沐浴、ドライテクニック、抱き方、観察	演習 シミュレーション ○村井 久保 永谷
19 (/) 20 (/)	母性看護の看護技術の統合 ① 看護実践の報告を ISBARC の6要素でできる ② 看護実践の評価と修正ができる ③グループメンバーと良好なチームワークを保つことができる ＊課題提出	〔予習・復習〕配布資料を読む 〔キーワード〕妊婦の健康診査、レオポルド触診法、胎児心拍モニタリング装着と判読、産褥進行性・退行性変化、新生児の健康診査、ドライテクニック、抱き方、観察	講義 ○久保

21 (/) 22 (/) 23 (/)	事例展開 (3) ハイリスク対象者の看護 帝王切開を受けた褥婦 ①ウェルネス看護診断による情報の整理ができる ②情報をセルフケア能力の視点で分析・解釈ができる ③対象理解しやすい表現で全体像の記載ができる ④根拠を基に優先順位および看護の方向性を決定できる ⑤看護診断及び看護上のニーズの明確化ができる ⑦看護診断及び看護上のニーズから目標設定、看護介入計画、評価の一連のケアプラン作成ができる ＊課題提出	〔予習〕 異常妊娠・分娩・産褥・新生児期における看護を読む 〔復習〕 第1回～第8回授業の振り返り 〔キーワード〕 帝王切開分娩 切迫早産 HDP 早産児 低出生体重児 TTN RDS MAS 先天異常 高ビリルビン血症	講義 ○村井
24 (/) 25 (/) 26 (/)	事例展開 (4) ハイリスク対象者の看護 新生児の異常 ①ウェルネス看護診断による情報の整理ができる ②情報をセルフケア能力の視点で分析・解釈ができる ③対象理解しやすい表現で全体像の記載ができる ④根拠を基に優先順位および看護の方向性を決定できる ⑤看護診断及び看護上のニーズの明確化ができる ⑦看護診断及び看護上のニーズから目標設定、看護介入計画、評価の一連のケアプラン作成ができる ＊課題提出	〔予習〕 異常妊娠・分娩・産褥・新生児期における看護を読む 〔復習〕 第1回～第9回授業の振り返り 〔キーワード〕 帝王切開分娩 切迫早産 HDP 早産児 低出生体重児 TTN RDS MAS 先天異常 高ビリルビン血症	講義 ○村井
27 (/) 28 (/)	母性看護における看護過程の展開 ～カンファレンスの持ち方～ ①カンファレンステーマの決定から実施ができる。 ②効果的なカンファレンスについて考える。 GW 内容発表	〔予習〕 配布資料を読む。カンファレンステーマと役割について決める。 〔復習〕 講義の振り返り 〔キーワード〕カンファレンステーマ コミュニケーション能力、積極性 協調性	講義 GW ○久保 永谷
29 (/) 30 (/)	まとめ ①母性看護学実習に向けて自己の学修課題を明確にできる ②修得した知識および技術が看護師国家試験合格レベルに達しているか確認できる	〔予習〕 看護師国家試験問題 〔予習〕 テキスト 配布資料 〔キーワード〕 母性看護学出題基準	講義 ○村井 永谷 ○久保 永谷